



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

先月後半は人民元切り下げに端を発した中国発の世界同時株安に、市場は大きく揺れ動きました。「セゾン号」の2つのファンドは、言ってみれば極めてノーマルな普遍的長期運用を旨としていますが、それ故こうした相場全体の急落時には、それ相応の下落は免れません。

しかし本格的長期投資ファンドが真価を発揮するのは、こうした大荒れの瞬間でもあります。日経平均が年初来最大の下落幅となった24日から25日にかけては、相場急落に慌ててしまった一部の方々の狼狽的解約が大きく出ましたが、同時に以後は連日、通常の3~4倍程度の買い注文が積み上がって、結果的には「セゾン号」は今回の下げ相場でも大幅な買い方に回ることが出来ました。

こうした投資行動は、ファンドを支えてくださる長期投資家の皆さまの総意に裏打ちされた資金フローがあってこそ実践出来ることであり、徹底長期投資の価値観と目標の相互コミットメントがしっかり機能している、本格的長期投資ファンドとしての面目躍如であります。改めて感謝申し上げます。

中国経済の急減速は明らかであり、ソフトランディングに向けて大きな課題が存在しているのみならず、抜本的社会構造の転換点に近いことも確かでありましょう。そして当面のマネーフロー的には通貨の連鎖安を伴う資本流出など、新興国経済への影響が深く懸念されます。それでも中国自体には財政的余力が大きく、景気下支えのインフラ投資など目先の政策対応は為されるでしょうし、先進各国も米利上げタイミングの再考や、欧州では量的緩和の強化、そして日本でも補正予算や或いは日銀の追加緩和期待など、機動的対応への選択肢が準備されていて、7年前のリーマンショックでの学習効果も活かされるはずです。そもそも相場の瞬間的な急変は、上昇時にも下落時にも甚だ合理性を欠いているものです。特に急落の時は、売らざるを得ない短期投機筋の機関投資家がそれを主導することでオーバーシュートするわけで、長期投資家はそれを冷静に俯瞰出来る立場にあるはずです。再三申し上げる通り、米日欧先進国経済はしっかり経済拡大途上にあつて、世界全体がリセッションに陥る可能性は低いわけで、長期投資家=賢明なる投資家であることを実証出来る、こうした相場混乱時に、「セゾン号」は沈着なる買い手として行動しております。どっしり参りましょう！

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）

セゾン資産形成の達人ファンド

8月の市場動向

株式：【世界経済の回復ペースが緩やかなものとなるなかで、中国経済の減速への警戒が高まり大幅下落】

世界的な金融緩和を背景に株式市場の上昇が続いていた一方で世界経済の回復ペースが緩やかであることから一段の上昇が見込みにくい状況となっていました。中国経済の減速への警戒が高まったことをきっかけに、景気の先行きへの警戒が高まり、大きく下落しました。

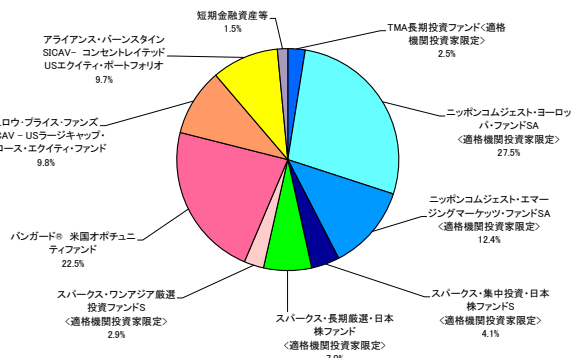
為替：【中国経済の減速への警戒が高まり、資金調達通貨となっていたユーロと円が上昇し、円は対ドルで上昇】

中盤以降、中国経済の減速への警戒が高まったことをきっかけに株式などのリスク資産からの資金逃避の動きが強まったことで、大規模な金融緩和策の拡大が続いていることを背景にリスク資産へ投資を行う為の資金調達通貨となっていたユーロと円が上昇しました。

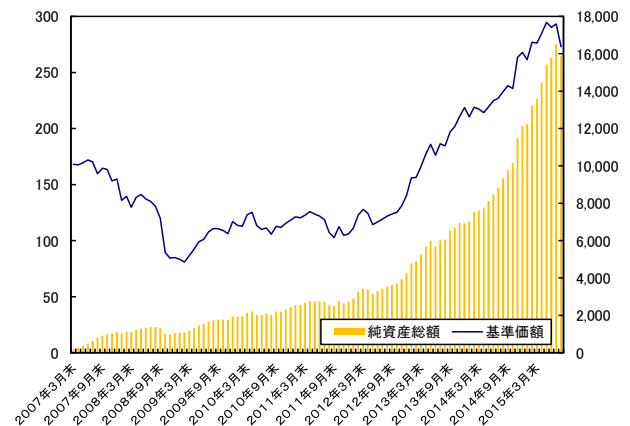
基準価額と純資産総額及び騰落率（2015年8月31日現在）

| 基準価額 | 純資産総額 | 設定来騰落率 | 過去1ヶ月の騰落率 | 過去6ヶ月の騰落率 | 過去1年間の騰落率 |
|---------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|
| 16,381円 | 264.9億円 | +63.81% | -6.94% | -1.43% | +17.25% |

資産配分状況(2015年8月31日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



8月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでの購入やスポット購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジェストエマージングマーケットファンド、コムジェストヨーロッパファンド、米国オポチュニティファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、T.ロウ・ブライス米国大型グロースファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月と変わらず、月末時点で1.5%となっております。

ファンドマネジャーからの一言

中国経済の減速への警戒が高まったことをきっかけに、株式市場からの資金逃避が発生し、一時は下落が呼ぶ状況となったこともあり、株式市場は大きく下落しましたが、投資先企業の価値は株価と一体となって変動している訳ではなく、株式を継続して保有することを希望する限り、その時々々の株価で取引に応じる義務はありません。

長期投資においては、株価と企業価値を区別して考える必要があり、特に株価が大きく下落した時は、投資先企業の価値に信頼が置けるかどうかという視点から投資判断を行っていくことが重要であると考えています。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5832%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）



セゾン投信